

マリレ情報よろず屋

平成27年9月発行第36号
第二管区海上保安本部
マリレジャー安全推進室

平成27年7月 船舶事故 衝突1件、乗揚1件

事故事例（衝突/八戸市三沢沖）

小型イカ釣り漁船と釣り中のプレジャーボートが、三沢沖16海里で衝突しました。漁船は自力航行可能でしたが、プレジャーボートは右舷外板に破口を生じ浸水、航行不能となりました。両船とも負傷者はなく、油の流出もありませんでした。



1にも2にも、見張りの徹底が重要です！常に周囲の状況を把握することを心がけましょう！



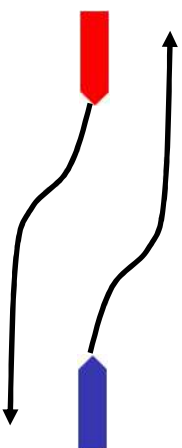
原因と対策

両船とも見張りを全く行っていなかったことが原因でした。プレジャーボート側は漂泊して釣りの仕掛けを準備中で、漁船側は自動操舵で、後部甲板で作業中であり、両船とも衝突するまで相手船に気付いていませんでした。このような海難が起きた場合、大事故に発展する虞があります。大切な命を守るため見張りを徹底しましょう。

海の安全情報 船舶の見張りと回避義務について

船舶は海上衝突予防法において、常時適切に見張りをするを義務づけられています。また、衝突の虞がある場合は、次のように回避しなければなりません！

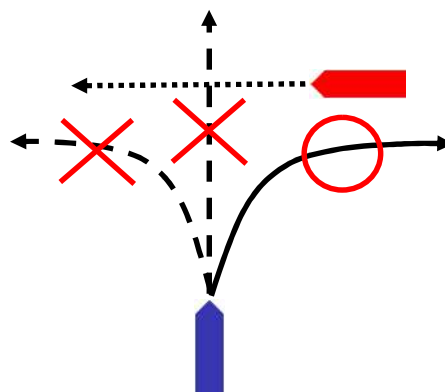
行き会い船の場合



お互い、他の船の左舷側を航行しよう！



横切り船の場合



他の船を右に見る船が回避しよう！



事件事例（負傷/酒田港）

溺水1件

事故者は、友人が操縦する水上オートバイにロープで連結された浮き輪に乗り、曳かれて遊走していました。同オートバイが急に左旋回した際、浮き輪が右に大きく振られ、水際付近に止められていた別の水上オートバイと衝突し、その弾みで事故者が陸上に放り出され、骨盤を複雑骨折する重症を負いました。



遊具を曳くロープが絡索した事故も発生してるよ！



原因と対策

周囲の状況確認が疎かになっていたこと、操船が不適切であったことが原因でした。バナナポートやウェイクボードなどの遊具を使用する際は、後ろの遊具の確認はもちろん、周囲に他船や障害物がないか十分確認し、安全な海域で遊走しましょう。また、旋回する際は、十分に速力を落とし、遊具の搭乗者の安全にも十分配慮しましょう。

ワンポイント講座 トーイングスポーツ 中の事故防止

トーイングスポーツをする皆様へのお願い

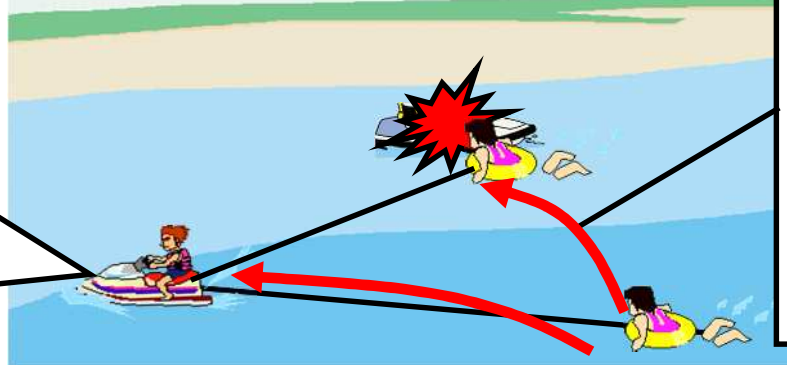
- 1、操船者は、人の命を預かっていることを常に意識する
- 2、救命胴衣着用のほか、出来る限りヘルメットを着用する
- 3、振れ回り、遠心力を十分に把握する（特に狭い海域）
- 4、飲酒後は、トーイングスポーツを行わない

安全にレジャーを楽しもうね！



トーイングスポーツとは、ポートや水上オートバイに曳かれて水面を滑走するものをいいます。（ウェイクボード、バナナポートなど）

操船者は、自らの操船技能を過信せず、遊具搭乗者の安全に配慮して航行しましょう。



振れ回りが大きく周囲に障害物があると衝突の危険性が高まります。



マリレ情報よろず屋

～バックナンバーはこちら～

MICSスマートフォン用サイト

（沿岸域情報提供システム）

